



大空

PTA広報 卒業おめでとう号
令和4年3月16日発行
若基小PTA執行部

6年生のみなさん、

ご卒業おめでとうございます！ PTA会長 龍頭 英理子



コロナウイルスとの戦いが続く中でしたが、充実した学校生活となりましたね。若基小で学んだ6年間、家族、友達そして地域の方々への感謝の気持ち「ありがとう」を大切に、中学校へと羽ばたいて下さい。応援しています。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。いつも、子供を想い、一緒に悩み、喜んだ、この6年間には様々なご苦労と大きな感動・成長があったことと思います。子供たちのおかげで私達保護者も、より成長できたのではないのでしょうか。

お子様が卒業されましても、今後は地域の一員として、一緒に子供たちを見守っていただきますよう、お願い申し上げます。

◆自分の内面を見つめて・・・どういう人になりたい。

天野 佑奈	私は、Snowmanのような、仲間と協力し合い、友達に優しくできるようになりたい。
天野 莉々	私は、何事があっても自然に笑顔が出る人になりたい。
天本俐衣奈	私は、おいしい料理を作って人を幸せにできるような人になりたいです。
石井 伶奈	相手のことを考え、命を大事にできる人になりたい。
大嶋 芽依	私は、どんなことにも一生懸命取り組み、たくさんの人のことを考えられる人になりたい。
小野 太聖	ぼくは、宮沢賢治のような、自分がどうなっても人の役に立てるような人になりたいです。
金富 空牙	どんなときでも優しく、ポジティブな人になりたい。また、料理がとても上手な人になりたい。
兼延 美心	ちゃんと人のことを考えて行動できて、人の話をしっかり聞いて、友達がピンチの時に助けてあげられる人になりたい。
岸 柚花	どんな人でも決めつけず、だれにでも優しく接してあげられるような人になりたい。
熊本 有華	私は、人にために優しくできる人になりたいです。
酒井じゅの	誰にでも優しく、平等に接することができる人になりたい。
酒井 美來	人と人の関わりを大切に、たくさんの人からたよられる人になりたい。
相良 悠斗	たくさん人のことを考えられる人になりたい。
椎原 祥太	他人の成長を止めるのではなく、自分が成長できる人になりたい。
島内 唯	私は、まわりの人を笑顔にできるような、明るい人になりたいです。
園田 悠稀	みんなのことを考えて、よく笑う人になりたい。
高山 海翔	小川笙船(道徳で学習した、江戸時代の人物)みたいに、やさしく、人を助ける人になりたいです。
寺岡 寧音	困っている人を助けたり、家族のために何でもしたり、たくさんの人にたよられる人になりたい。
中島 鏡	自然を大切に、世界遺産という昔のことを知ることができるものを大切にできる人になりたい。
中島 嵩	だれかのためになることができるような人になりたい。
永利 紗南	私は、どんなときでも友達思いで、ずっと友達を大切に守れる人になりたい。
南島 成葉	相手のことをしっかり考えられる人になりたい。
西谷 心美	努力を怠らず、何事も一生懸命取り組んで、家族を大切にできる人になりたい。
羽根 光基	ぼくは、何にでもがんばることのできる人になりたいです。得意なことが多くて、みんなの役に立てるような人になりたいです。
林田 結衣	みんなに細かい気配りができる人になりたい。
肥山 大悟	みんなが幸せになれるように、一生懸命がんばれる人になりたい。
福井 健太	困っている人をすすんで助ける人になりたい。
藤井 大雅	どんなことでも笑ったりして、許せるような心が広い人になりたいです。
藤田 一花	家族や友達を大事にし、みんなを笑顔にできる人になりたい。

町田 遥輝	お父さんのように、くじけず、がんばることができるような人になりたい。
マヒルム シャーウィン ジュニア エシヨ	チュールソーンという韓国人のボディビルダーみたいに体を鍛えてみんなを笑顔にしたい。
宮尾 幸翔	宮沢賢治やマザー・テレサのように、自分や周りの人を幸せにできるような人になりたい。
迎 菜雅	自分勝手な行動をせず、今何をすべきか判断できる人になりたい。
村山 睦月	ボクは、「努力をして、報われる人」になりたいです。
山内 優季	どんな人も差別せず、いろいろな人を受け入れられる人になりたい。
山口 柚優	私は、自分に何かしてもらったらちゃんと恩を返せる、そんな人になりたいです。
渡邊 稀咲	私は、だれかのために、一生懸命できるような人になりたいです。
筏 桜子	ハンドメイド作家になって、いろんな人を幸せにできるような作品をたくさん作りたい。



◆5年生内田理史君をPTA表彰しました。

「さがプログラミングアワード2021」において、佐賀県内最高賞の「高学年大賞」を受賞した、5年生の内田理史君をPTA表彰し、図書カードを贈りました。これは、若基小学校PTA規約 慶弔費規定 第3条（慶事）・第4条（表彰）に則ったものです。



内田君は、さらに、3月6日にオンラインで行われた全国選抜小学生プログラミング大会に出場。「みんなのみらい」をテーマにアイデア満載の未来志向の作品を発表しました。

審査の結果、審査員特別賞に選ばれました。内田君の熱い興味と関心に基づく努力とその輝かしい成果に、心から拍手を送ります。本当におめでとうございます。

小学生プログラミング全国大会

発表の後、審査員の質問に答える内田理史君
（佐賀市の佐賀新聞社）



共同通信社と佐賀新聞社などの加盟社でつくる全国新聞社事業協議会が主催。初開催だった昨年の大会より25

「癒やし」空間の光発想力評価

基山町 佐賀市
アイデアを生かしてプログラムを制作し、作品の完成度や発想力を競う「全国選抜小学生プログラミング大会」の全国大会が6日、オンラインで開かれた。地方大会を勝ち抜いた37組が出場。佐賀県代表の若基小5年の内田理史君（基山町）はLED電球の光り方をプログラミングした「光の波紋」を発表し、審査員特別賞に選ばれた。

4組多い927組の応募があった。全国大会は6人の審査員が発想力や表現力、技術力を100点満点で評価し、事前に録画した3分間の動画による発表や審査員との質疑応答が行われた。内田君は県内の旅行先で見たデジタルアートに感動し、自宅でも光を楽しめる装置を作った。鉛筆キャップにガラスのかけらを付けてLED電球にかぶせ、光らせ方をプログラミングした。明暗の長さなどを調整して落ち着く空間をつくり出す装置を完成させた。審査員からは「癒やし」に着目した発想を評価する声が上がった。これからの展望について尋ねられると、「どこにいても精神的な安らぎを感じられる空間を簡単に作り出せるようなものを開発したい」と答えていた。グランプリには鹿児島県代表の小田原叶和さん（5年）が輝いた。（中島野愛）

内田君（若基小5年）審査員特別賞